



## 平成 28 年 12 月期 第 1 四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成 28 年 5 月 9 日

上場会社名 旭硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 島村 琢哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部広報・IR室長 (氏名) 小林 純一 (TEL) 03-3218-5603  
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 5 月 11 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 28 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期利益		四半期 純利益		親会社の所有者に 帰属する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 12 月期第 1 四半期	307,997	△5.4	16,708	4.9	12,896	22.4	9,770	90.1	8,839	91.2	△56,925	-
27 年 12 月期第 1 四半期	325,596	△1.1	15,935	24.3	10,539	△21.9	5,139	△36.7	4,623	△35.8	16,554	-

	基本的 1 株当たり 四半期純利益	希薄化後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 12 月期第 1 四半期	7.65	7.62
27 年 12 月期第 1 四半期	4.00	3.98

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28 年 12 月期第 1 四半期	1,904,472	1,095,867	1,028,626	54.0
27 年 12 月期	1,991,262	1,163,767	1,094,172	54.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 12 月期	-	9.00	-	9.00	18.00
28 年 12 月期	-	-	-	-	-
28 年 12 月期(予想)	-	9.00	-	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 28 年 12 月期の連結業績予想 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に帰 属する当期純利益		基本的 1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	680,000	3.3	30,000	△12.3	-	-	-	-	-	-	-
通期	1,400,000	5.6	75,000	5.4	45,000	△46.8	30,000	△35.2	25,000	△41.7	21.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、第 2 四半期 (累計) については、売上高・営業利益の予想のみを算出しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期1Q	1,186,705,905株	27年12月期	1,186,705,905株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	30,512,468株	27年12月期	30,665,148株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期1Q	1,156,108,541株	27年12月期1Q	1,155,855,791株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ウェブサイトに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(要約四半期連結純損益計算書)	6
(要約四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12
(その他収益及びその他費用)	13
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①2016年12月期第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（2016年1月1日から2016年3月31日まで）における当社及び関係会社（以下、当社グループという）を取り巻く世界経済は、全体としては引き続き緩やかな景気回復が続いたものの、一部の地域で弱さが見られました。日本においては、政府の経済政策等により、景気は緩やかな回復基調が継続しましたが、先行きに不透明感が増しています。欧州の景気は引き続き緩やかに回復し、米国でも個人消費が増加するなど、景気回復が続いています。中国をはじめとする新興国においては、成長鈍化が見られました。

このような環境の下、当社グループではディスプレイ事業の売上高減少や円高等の影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は前第1四半期連結累計期間比176億円（5.4%）減の3,080億円となりました。営業利益は、ディスプレイ事業において出荷数量減少及び販売価格下落の影響を受けたものの、建築用ガラスの販売価格上昇及び自動車用ガラスの出荷数量増加、並びにすべての事業におけるコストダウンの取り組みや原燃材料価格下落により同8億円（4.9%）増の167億円となりました。また、税引前四半期利益は、海外子会社の円建資産・負債の期末時点評価による為替差損が縮小したことと同24億円（22.4%）増の129億円、親会社の所有者に帰属する四半期純利益は、法人所得税費用が減少したことと同42億円（91.2%）増の88億円となりました。

## ②2016年12月期第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

## ○ガラス

建築用ガラスの出荷は、日本及び北米では堅調に推移しました。西中欧では需要は回復しているものの、東欧では引き続き低迷しました。販売価格は多くの地域で前年同期に比べ上昇したものの、円高の影響もあり、建築用ガラスは前年同期に比べ減収となりました。

自動車用ガラスは、日本及び一部新興国で自動車生産台数は減少したものの、全体としては堅調に推移したことから、当社グループの出荷も増加し、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間のガラスの売上高は前第1四半期連結累計期間比18億円（1.1%）増の1,709億円となりました。営業利益については、建築用ガラスの販売価格上昇や自動車用ガラスの堅調な出荷、及び原燃材料価格下落等により同47億円（237.2%）増の67億円となりました。

## ○電子

液晶用ガラス基板の出荷は、顧客における生産調整の影響を受け、前年同期に比べ減少しました。また、販売価格も前年同期に比べ下落しました。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は、スマートフォン市場減速の影響を受け電子機器用途での出荷は前年同期に比べ減少しましたが、車載用途での出荷は拡大しました。ソーラー用ガラスの出荷は、前年同期に比べ減少しました。電子部材については、スマートフォン市場減速の影響を受け、オプトエレクトロニクス用部材の出荷が前年同期に比べ減少しました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間の電子の売上高は前第1四半期連結累計期間比143億円（19.6%）減の587億円、営業利益は同64億円（72.8%）減の24億円となりました。

## ○化学品

クローラルカリ・ウレタンは、東南アジアにおいて出荷が増加したものの、国際市況の影響により一部製品の販売価格が下落し、また円高となったことから、前年同期に比べ減収となりました。フッ素・スペシャリティは、一部製品の出荷が減少し、また円高となったことから、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間の化学品の売上高は前第1四半期連結累計期間比59億円（7.5%）減の726億円となりました。一方、営業利益は原燃材料価格下落等の影響により、同19億円（31.5%）増の79億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス等
電子	液晶用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医薬薬中間体・原体、ヨウ素製品等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

## (2) 財政状態に関する説明

## ○資産

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比868億円減の19,045億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことにより為替換算後の有形固定資産が減少したことに加え、上場株式の株価下落に伴い、その他の金融資産が減少したことによるものであります。

## ○負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比189億円減の8,086億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことによる影響も含め有利子負債が減少したことによるものであります。

## ○資本

当第1四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末比679億円減の10,959億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことに加え、上場株式の評価が下落したことに伴い、その他の資本の構成要素が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に 帰属する 当期純利益
当期（2016年12月期）	14,000	750	450	300	250
前期（2015年12月期）	13,263	712	845	463	429
増減率（%）	5.6	5.4	△46.8	△35.2	△41.7

2016年の世界経済は、全体としては緩やかな景気回復が続くものの、一部の地域で弱さが見込まれます。

このような環境の下、建築用ガラスの出荷は、日本・アジア、北米においては堅調に推移する見込みです。欧州においては、東欧では低迷するものの、西中欧では緩やかに増加する見込みです。自動車用ガラスは、一部新興国で自動車需要に減速感が見られるものの、全体としては出荷は堅調に推移する見込みです。

液晶用ガラス基板の出荷は、期前半に顧客における生産調整の影響を受け、前期に比べ減少するものの、通期では増加する見通しです。販売価格の下落幅については、縮小していく見込みです。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は、電子機器用途ではスマートフォン市場の動向に不透明感はあるものの、通期では増加する見込みです。また、車載用途での出荷は拡大する見通しです。電子部材のうちオプトエレクトロニクス用部材の出荷が期前半に減少するものの、期後半からは回復する見通しです。半導体関連製品については、堅調に推移する見通しです。

化学品関連製品の出荷については、インドネシアの新規設備が生産を開始したことから、クロール・アルカリ製品が大幅に増加し、またフッ素関連製品も堅調に推移する見込みです。

以上を踏まえて、当社グループの2016年通期の売上高は前期比737億円（5.6%）増の14,000億円、営業利益は前期比38億円（5.4%）増の750億円を予想しています。しかしながら、2015年通期は退職後給付制度改定益を計上したため、2016年通期の税引前利益は前期比395億円（46.8%）減の450億円、親会社の所有者に帰属する当期純利益は前期比179億円（41.7%）減の250億円を予想しています。

2016年通期の期中平均為替レートは、対米ドル120円、対ユーロ130円と想定しています。

## 《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみ全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

要約四半期連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いたすべての収益・費用が含まれております。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2015年12月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2016年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	104,831	110,097
営業債権	241,294	228,247
棚卸資産	235,374	235,582
その他の債権	36,733	28,645
未収法人所得税	6,448	7,160
その他の流動資産	12,863	10,414
流動資産合計	637,546	620,148
非流動資産		
有形固定資産	982,296	951,961
のれん	34,231	33,467
無形資産	27,456	26,106
持分法で会計処理されている投資	38,850	38,618
その他の金融資産	232,877	198,578
繰延税金資産	30,108	30,027
その他の非流動資産	7,896	5,562
非流動資産合計	1,353,716	1,284,323
資産合計	1,991,262	1,904,472
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	126,956	122,088
短期有利子負債	34,989	41,566
1年内返済予定の長期有利子負債	61,709	44,898
その他の債務	98,678	100,609
未払法人所得税	4,737	4,503
引当金	1,887	1,901
その他の流動負債	17,198	17,584
流動負債合計	346,157	333,152
非流動負債		
長期有利子負債	372,034	372,383
繰延税金負債	32,666	14,741
退職給付に係る負債	58,057	69,510
引当金	12,821	13,034
その他の非流動負債	5,758	5,782
非流動負債合計	481,338	475,451
負債合計	827,495	808,604
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	100,802	100,748
利益剰余金	663,874	662,367
自己株式	△29,576	△29,427
その他の資本の構成要素	268,198	204,063
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,094,172	1,028,626
非支配持分	69,594	67,240
資本合計	1,163,767	1,095,867
負債及び資本合計	1,991,262	1,904,472

(2) 要約四半期連結純損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結純損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
売上高	325,596	307,997
売上原価	△243,732	△228,673
売上総利益	81,863	79,323
販売費及び一般管理費	△66,432	△62,983
持分法による投資利益	503	368
営業利益	15,935	16,708
その他収益	466	622
その他費用	△4,712	△2,815
事業利益	11,689	14,515
金融収益	653	656
金融費用	△1,803	△2,275
金融収益・費用合計	△1,150	△1,619
税引前四半期利益	10,539	12,896
法人所得税費用	△5,399	△3,125
四半期純利益	5,139	9,770
親会社の所有者に帰属する四半期純利益	4,623	8,839
非支配持分に帰属する四半期純利益	516	930
1株当たり四半期純利益		
基本的1株当たり四半期純利益(円)	4.00	7.65
希薄化後1株当たり四半期純利益(円)	3.98	7.62



(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
四半期純利益	5,139	9,770
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付負債（資産）の純額の再測定	6,852	△8,968
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	14,944	△22,063
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△68	9
純損益に振り替えられることのない項目合計	21,728	△31,022
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	318	△297
在外営業活動体の換算差額	△10,660	△35,391
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	27	16
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△10,313	△35,672
その他の包括利益（税引後）合計	11,414	△66,695
四半期包括利益合計	16,554	△56,925
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	17,115	△55,188
非支配持分に帰属する四半期包括利益	△561	△1,736

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2015年1月1日 至 2015年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債（資産）の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,670	641,866	△29,784	△40,859	86,402
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	4,623	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	6,578	14,940
四半期包括利益合計	—	—	4,623	—	6,578	14,940
所有者との取引額等						
配当	—	—	△10,402	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	—
自己株式の処分	—	△0	△6	41	—	—
株式報酬取引	—	△13	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△14	△10,409	27	—	—
期末残高	90,873	100,656	636,080	△29,757	△34,281	101,342

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△734	264,693	309,501	1,113,126	67,364	1,180,490
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	4,623	516	5,139
その他の包括利益	346	△9,373	12,492	12,492	△1,078	11,414
四半期包括利益合計	346	△9,373	12,492	17,115	△561	16,554
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△10,402	△451	△10,854
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	△14
自己株式の処分	—	—	—	34	—	34
株式報酬取引	—	—	—	△13	—	△13
その他企業結合等	—	—	—	—	1,184	1,184
所有者との取引額等合計	—	—	—	△10,396	733	△9,663
期末残高	△387	255,319	321,993	1,119,845	67,536	1,187,382

当第1四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付負債（資産）の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	100,802	663,874	△29,576	△35,003	91,408
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	8,839	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△8,980	△22,048
四半期包括利益合計	—	—	8,839	—	△8,980	△22,048
所有者との取引額等						
配当	—	—	△10,404	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—
自己株式の処分	—	—	△47	151	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	16	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	105	—	—	△105
株式報酬取引	—	△69	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△53	△10,346	148	—	△105
期末残高	90,873	100,748	662,367	△29,427	△43,983	69,254

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△2,563	214,357	268,198	1,094,172	69,594	1,163,767
当期変動額						
四半期包括利益						
四半期純利益	—	—	—	8,839	930	9,770
その他の包括利益	△281	△32,718	△64,028	△64,028	△2,666	△66,695
四半期包括利益合計	△281	△32,718	△64,028	△55,188	△1,736	△56,925
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△10,404	△197	△10,601
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	—	—	104	—	104
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	16	△419	△402
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△105	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△69	—	△69
その他企業結合等	—	—	—	—	△1	△1
所有者との取引額等合計	—	—	△105	△10,356	△617	△10,974
期末残高	△2,845	181,638	204,063	1,028,626	67,240	1,095,867

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	10,539	12,896
減価償却費及び償却費	33,807	31,405
受取利息及び受取配当金	△632	△641
支払利息	1,635	1,637
持分法による投資損益	△503	△368
固定資産除売却損益	605	381
営業債権の増減額	19,303	6,867
棚卸資産の増減額	△8,201	△5,844
営業債務の増減額	△1,859	△899
その他	6,895	13,793
小計	61,587	59,226
利息及び配当金の受取額	651	712
利息の支払額	△1,582	△2,416
法人所得税の支払額	△5,654	△5,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,001	51,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△29,582	△30,879
有形固定資産の売却による収入	5,064	837
その他の金融資産の取得による支出	△386	△2,600
その他の金融資産の売却及び償還による収入	192	1,222
その他	47	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,664	△31,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	△21,380	7,907
長期有利子負債の借入及び発行による収入	8,019	9,776
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△183	△20,196
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	—	△402
自己株式の取得による支出	△14	△2
配当金の支払額	△10,402	△10,404
その他	495	△423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,466	△13,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,894	△1,314
現金及び現金同等物の増減額	8,765	5,265
現金及び現金同等物の期首残高	69,655	104,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,420	110,097

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に「ガラス」、「電子」及び「化学品」の3カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「ガラス」、「電子」及び「化学品」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は、以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、装飾ガラス、建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、防災・防犯ガラス、防・耐火ガラス等）、自動車用ガラス等
電子	液晶用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、半導体プロセス用部材、オプトエレクトロニクス用部材、照明用製品、理化学用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、フッ素樹脂、撥水撥油剤、ガス、溶剤、医薬中間体・原体、ヨウ素製品等

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2015年1月1日 至 2015年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	168,813	72,783	77,648	6,349	325,596	—	325,596
セグメント間の売上高	272	227	825	7,500	8,825	△8,825	—
計	169,086	73,011	78,474	13,850	334,421	△8,825	325,596
セグメント利益又は損失（営業利益）	1,991	8,738	6,045	△878	15,897	38	15,935
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	5,139

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			セラミックス・その他	合計	調整額	要約四半期連結純損益計算書計上額
	ガラス	電子	化学品				
外部顧客への売上高	170,717	58,311	72,366	6,600	307,997	—	307,997
セグメント間の売上高	159	419	219	10,171	10,969	△10,969	—
計	170,877	58,731	72,586	16,771	318,966	△10,969	307,997
セグメント利益又は損失（営業利益）	6,714	2,374	7,947	△374	16,662	45	16,708
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	9,770

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
固定資産売却益	—	105
その他	466	517
その他収益合計	466	622

その他費用

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
為替差損	△2,235	△398
固定資産除却損	△592	△486
事業構造改善費用	△1,531	△381
その他	△353	△1,548
その他費用合計	△4,712	△2,815

(重要な後発事象)

該当事項はありません。